

## 授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 発達と老化の理解	授業の種類 (講義)	授業担当者 金子 恵	
授業の回数 30コマ	時間数 (単位数) 60時間	配当学年・時期 1年通年	講師の実務経験 (有) ・ 無
[授業の目的・ねらい] ・ 発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習			
[授業全体の内容の概要] ・ 発達について理解することができる ・ 老化による身体的な変化の理解を深める			
[授業修了時の達成課題 (到達目標)] ・ 発達について理解ができる ・ からだについて理解し、老化による生じる身体的な変化について考えることができる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1 老化と発達についての説明 2 発達とは何か。老化の定義 成長発達に影響する要因 3 発達理論について 4 心理的機能の発達について 5 老年期の定義、発達、課題について 6 発達について小テスト、復習、恒常性について 7 骨、筋肉について 8 脳神経系 9 感覚器 10 血液、循環器 11 消化器、腎、泌尿器 12 内分泌、泌尿器 13 確認テスト・老化に伴う心理的な変化① 14 老化に伴う心理的な変化② 15 定期試験、振り返り 16 記憶機能の変化 (長期記憶、短期記憶) 17 認知機能の変化 18 高齢者の症状・疾患の特徴 19 高齢者に多い症状・訴えとその留意点 20 高齢者に多い病気とその留意点 21 生活習慣病 22 骨・関節系の病気、歯・口腔の病気 23 目の病気、耳の病気、皮膚の病気			

<p>2 4 呼吸器の病気、腎・泌尿器の病気</p> <p>2 5 脳・神経系の病気、消化器系疾患</p> <p>2 6 循環器系疾患、精神疾患</p> <p>2 7 介護保険の特定疾患</p> <p>2 8 高齢者に起こりやすい感染症</p> <p>2 9 保健医療職とのチームケアの必要性</p> <p>3 0 定期試験 振り返り</p>	
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>中央法規出版 発達と老化の理解</p>	<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>(試験やレポートの評価基準など)</p> <p>テスト結果 8 割</p> <p>課題、小テストの結果 2 割</p>